

兵庫県保険医協会第47回総会にご参加ください

◇ 6月21日(日)13時30分～/チサンホテル神戸(「高速神戸」駅直結徒歩1分)

- ・総会議事 13時30分～ 2Fあじさい
2014年度会務報告、2015年度活動方針案・予算案、役員選出の承認ほか
- ・記念講演 15時30分～

新世代ゲノム解析によって変わる医学と医療

国立遺伝学研究所 人類遺伝研究部門 教授 井ノ上逸朗 先生



次世代シーケンサーと称される新世代シーケンシング技術の発展は目覚ましいものがあり、ゲノム医学推進の駆動力となり医学・医療を一変させることでしょう。現在の最高機 (HiSeq 2500 (illumina))では1回のランでヒト全ゲノム6人分を同時に解析できます。さらには一人当たりの全ゲノム配列を10万円程度で解析できるシステムも発表されています。2003年に完全解読がなされたヒトゲノム計画では一人分の全ゲノム配列を決定するのに、10年かつ3000億円かけました。10数年しかたっていませんが、隔世の感があります。さらに高性能のシーケンシング技術が期待されています。現在でも全エクソン配列決定や全ゲノム配列決定による疾患遺伝子解析は加速度的に進んでおり、将来的にはほとんどの遺伝病において原因は判明していることとなるでしょう。

さてシーケンシング技術が医学・医療になにをもたらすのでしょうか。本講演ではいろいろな例をあげて考えていきたいと思います。がんにおける遺伝子変異はかなりわかってきました。遺伝病のみならずありふれた疾患の原因遺伝子も続々と解明されています。腸内細菌叢の違いが肥満など健康と関連することもわかってきました。最近話題になっているのが、新型出生前遺伝子診断です。母体血清には胎児DNAが10%前後存在しているので、血清中のDNAを検査することによりダウン症候群を始め多くの遺伝性疾患の診断をおこなうものです。当初危惧されていた精度についても、最新の論文では高い精度となっていることが示されました。同時に命の選別といった問題が懸念されています。ゲノム医学がもたらす光の部分のみでなく倫理的な問題についても最後に議論したいと思います。

【井ノ上 記】

《ご略歴・プロフィール》1984年鹿児島大学医学部卒業、88年同学大学院博士課程卒業、89年同学医学部助手、89～93年ユタ大学ポスドク、同学ハーワードヒューズ医学研究所研究員、人類遺伝学研究員、97年群馬大学生体調節研究所助教授、2000年東京大学医科学研究所客員助教授、06年東海大学医学部教授、08年同学大学総合医学研究所所長を歴任、2010年から、国立遺伝学研究所教授。医学博士(鹿児島大学1988年)、学会活動等：人類遺伝学会(評議員)、アメリカ人類遺伝学会、分子生物学会、Journal of Human Genetics (Review Associate Editor)。

◇懇親会 17時～ (参加費不要) チサンホテル神戸 3F 六甲

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.213 2015年5月25日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
 連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
 兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1803 FAX/078-393-1802

他科を知る会

皮膚科領域のアレルギー知る



上・足立先生が分かりやすく解説
 右・質疑応答が活発に行われた



支部は、4月18日に他科を知る会「～医師であれば必ず遭遇する～蕁麻疹と薬疹の多様性と対処法について」を、姫路じばさんびるで開催。兵庫県立加古川医療センター診療部皮膚科部長の足立厚子先生が講演し、30人が参加した。西川クリニック(姫路市)の西川実徳先生の感想を紹介する。

2面に続くー

1面の続き

皮膚科領域のアレルギーの世界では、全国に名がとどろく足立厚子先生をお招きして、姫路・西播支部の講演会が行われました。このたびは晴天に恵まれ、姫路駅前で歯科医師、内科・小児科はもちろん、精神科やいろいろな診療科の医師が集まり、盛況でした。

今回は、全国協会のなかで兵庫にだけ存在する薬科部の先生も参加できる会になるとよいと思います。

分かりやすいスライドをテキストとしていただいたので、より一層分かりやすかったです。薬疹・じんましんの話が中心でした。薬疹では七つに分類され、さらにD I H SやIV型アレルギーの話もあり、奥深いものでした。

じんましんは五つに分類され、さらにアスピリン不耐症や仮性アレルギーについてご解説いただきました。そしてI型アレルギーについて、アナフィラキシーショックを中心に解説いただきました。

魚のアレルギーとアニサキスの話やパンケーキ症候群についてもご教示いただき、とても充実していました。

第272回支部幹事会より

4月23日(木)14時30分～ 於 イーグレ姫路

参加 3人



◆患者窓口負担引き下げを求める取り組みや、姫路市長選挙などの議論が行われた。支部の今後の企画として接遇研修会、医院経営研究会、総会記念企画などについて議論された。

幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。次回は5月28日(木)14時30分～じばさんびるです。お問い合わせは、Tel 078-393-1803 F A X : 078-393-1802 E-mail : arimoto@doc-net.or.jp 担当事務局 : 有本まで

支部ニュースへぜひご投稿ください

日常診療のことや医科・歯科連携などテーマは自由です。

ぜひご投稿ください。よろしくお願ひします。

お問い合わせは、Tel 078-393-1803 F A X : 078-393-1802

E-mail : arimoto@doc-net.or.jp

担当事務局 ; 有本まで

第87回評議員会

患者・スタッフとともに より良い医療をめざす

協会は5月17日に第87回評議員会を、協会会議室で開催した。支部からの発言として西川実徳評議員代理が、支部で協力した姫路市での子どもの医療費無料化の実現や、昨年から取り組んでいる医院経営研究会の取り組みなどについて報告をした。発言要旨を掲載する。

昨年9月より「医院経営研究会」を開催している。第1回は「職員を大切にす職場づくり」、第2回は「労働契約書の書き方～よりよい労使関係を築く～」をテーマに社会保険労務士の嶺山洋子先生にご講演いただき、毎回15人程の参加を得ている。

労使関係のトラブルを無くし、スタッフのやる気を高め、よりよい医療機関をめざそうと企画を立ち上げた。毎回講演終了後には、講師の先生への個別質問時間を確保し好評を得ている。次回は「面接」をテーマに開催を準備している。

また、昨年支部が協力した姫路市の「子どもの医療費無料化を求める請願署名」が市議会で全会一致で採択され、所得制限はあるものの、7月から中学3年生まで医療費が原則無料となる。姫路市には休日夜間急病センターがあり、今年正月には7時間待ちという異常な事態となった。姫路には市民病院、大学病院が無く、小児科医の撤退もあった。近隣市から深夜に急病センターに運び込まれる事態もある。県内・県外から小児科医の派遣をお願いしている状態だ。小児科の開業が少ない中で、「コンビニ受診」をどう抑制していくかが課題になる。

支部企画では4月18日に皮膚科領域をテーマにした研究会「～医師であれば必ず遭遇する～蕁麻疹と薬疹の多様性と対処法について」を開催し、兵庫県立加古川医療センター皮膚科部長足立厚子先生にご講演いただき30人の参加を得た。

また憲法全文を一条ずつ読む学習会も行っている。弁護士の先生を講師に、自民党の改憲草案と比較しながら深めていく。次回は5月28日の幹事会後に開催予定。興味のある先生はぜひご参加いただきたい。姫路支部では、日本最大級の夢前の産廃処分場建設に反対し、多くの署名をいただいた。5月23日には毎年恒例の職員接遇研修会を行う。

今後も会員のニーズに応じた企画を行っていきたいと考えている。



発言する西川先生